

## — 送迎時に発生しうる急変事例への対応心得 —

船橋市消防局夏見分署

### 想定事例 1：送迎乗車中の利用者の意識消失への対応

- A 1 送迎車両を安全な場所に停車させる。
- 2 意識消失者の反応の確認を行う。
- 3 周りに助けを求める。
- 4 119番（意識が無いことを伝える）とAEDを持参するよう相手に伝える。
- 5 呼吸の確認を行う。
- 6 呼吸が無かったら心肺蘇生法を開始する。

### 想定事例 2：送迎時の転倒による外傷受傷

- A 1 清潔なタオル等を使用し、（感染予防の観点から）血液には直接触らないように注意し出血部位を圧迫し止血を行う。  
処置後は出血により汚れた部位だけではなく、職員や利用者が触った部位は必ず消毒する。  
消毒液は市販の漂白剤（ハイター等）で構わない。

### 想定事例 3：送迎時の嘔吐

- A 1 嘔吐物を誤嚥しないような体位（座位、または座位よりも上体を起こした体位）を取る。嘔吐物は直接手で触らない。
- 2 他の利用者が乗車している場合、他の利用者も同様に嘔吐物を触らないように注意・配慮を行う。
- 3 処置後は市販の漂白剤を使用し、嘔吐で汚れた部位だけでなく、ドアの取っ手、ハンドルなど、職員や利用者が触る部位は必ず消毒を行う。  
消毒は汚れた部位を拡げないような工夫をして行うこと。

今回の想定で回答した内容が全てではなく、様々な状況が考えられる中で、必要に応じた対応が重要となってきます。

また、消防訓練で行う応急救護訓練の他に、船橋市消防局では普通救命講習や上級救命講習を行っております。ご興味をお持ちでしたら船橋市消防局救命課までご連絡下さい。

以上